



安城市出身・在住の 人気作家、沖田円さんおき た えんを ご存知ですか

『僕は何度でも、きみに初めての恋をする。』
が累計24万部を超えるセールスを上げる沖
田円さん。安城で生まれ育ち、今も市内に
住む人気作家です。

新作は、七夕祭りの表紙カバーが印象的な
小説『神様の願いごと』。

沖田さんに、作品や安城七夕まつりへの想
いについてお聞きしました。

「夢を持たない人」を応援したい

「3月に4作目『神様の願いごと』
を発売しました。夢を持たない女
子高生の千世が、神社で出会った
「神様」との出会いを機に人々の喜
びや悲しみを知り、自分の生き方
を見つけていくお話。千世は「神
様」の夢を叶えるため、七夕祭り
を開催しようと奔走します。

今作は、夢を追う人ではなく、
夢を見つけれない人や夢をあき
らめた人を応援したいと思って書
いたものです。私も高校生の頃は
夢が見出せず、友達が将来に向け
着々と進路を決めていく中で焦り
を感じていました。専門学校に進
んでからも、これでいいのかと悩
み苦しむ毎日。そんな時に偶然出
会ったのが小説投稿サイトでした。

現実逃避したくて始めた執筆

それからというものの、ただひた
すらに小説を書きました。文章を
書くのが特別得意だったわけでは
ないのですが、小説を書いている
間は現実を忘れられたからです。
私の執筆は、いわば現実逃避から
スタートしたものでした。

その後、数年は会社勤めの傍ら、
趣味として小説を投稿していまし

たが、出版社から声をかけられ小
説家デビュー。以来、この一年半
で多くの方に作品を読んでもいただ
けるようになりとても嬉しいので
すが、いまだに信じられないよう
なフワフワした感覚でいます。

大好きな安城七夕まつり

『神様の願いごと』は、駅で安城
七夕まつりのポスターを見た出版
社の編集者が「七夕祭りをキーワ
ードに作品を書いては？」と何気
なく言った一言から生まれました。
作品の中で七夕祭りや願いごとは
重要な要素になっています。

私自身、幼い頃から安城七夕ま
つりは大好きでした。学生の頃は
3日間毎日行くほど。屋台の食べ
歩きが好きでしたね。

今年の安城七夕まつりの ポスターは、沖田作品の 表紙イラストに決定！



小説『神様の願いごと』は、安城七
夕まつりの会場の一つである安城
七夕神社がモチーフとなった作品。
今年度の安城七夕まつりは、『神様
の願いごと』との共同イベントも
実施予定です。

作品には商店街やまちに住む様
々な人々が登場します。私は生ま
れも育ちも安城。幼い頃から、商
店街の人やその家族がまちぐるみ
で仲良く暮らしている様子が身近
にありました。それは私の原風景
として、あるいは憧れとして、作
品に投影されているのかもしれま
せん。

この先もずっと、ここ安城で作
品を生み出していきたいですね」

小説家 沖田円さん

安城市出身・在住の小
説家。超人気小説『僕
は何度でも、きみに初
めての恋をする。』を
はじめ、『一瞬の永遠を、
きみと』『春となりを
待つきみへ』(スターツ
出版)等ヒットが続く。
『神様の願いごと』(ス
ターツ出版・610円(税
別))は8万部を突破。

広報あんじょうでは今後、沖田円さんによるコラムを掲載予定です。乞うご期待！